

F P 実践力向上 (48)

新紀元社
CFP 伊藤 亮太

個人向け国債

Q：今後成長の期待できそうな新興国および投資先を見るポイントは。

回答 欧州債務危機などにより先進国経済が低迷する中、アジアを中心に経済に勢いのある新興国が世界経済の成長を支える役割を果たすようになってきています。それではどのような国が期待でき、また経済が好調といえるのでしょうか。

経済成長をもたらすのは、一般的に人口（労働力）の増加、資本の増加、技術進歩と言われています。このうち、人口の増加については、ある程度予測が可能であるため、新興国のうち人口増加が予測される国を探してみましょう。そしてその中でも対GDP比で見た債務割合があまり高くなく、ここ数年安定的に成長してきている国（例えばインド、インドネシアなど）が長期で見た場合に期待ができる国といえます。

事実、インドネシアなどでは、人口増加による消費増大、成長を期待する海外からの資本流入等により、金融危機や欧州債務危機の影響を大きく受けずに「内需」主導型の経済により確実に年率6～7%前後の成長を遂げています。内需が堅調な国は、海外の経済情勢に影響を受けにくいので、

一つの投資対象として注目されています。

それでは経済に勢いのある新興国を探したうえで、さらに投資対象を絞り込むとした場合、どのような業種が長期的にみて期待できるといえるのでしょうか。基本に立ち返って考えてみましょう。

経済成長を遂げる国の一つの要素に、人口増加がある点は上記でお話しました。つまり、人口増加による恩恵を受ける「消費関連銘柄」がまず期待できる業種と指摘できます。具体的には流通、小売、サービス業などが挙げられます。またインフラ整備も構築されていくと想定されるため、「インフラ関連銘柄」も期待できるといえます。電力、ガス、水道、通信などが該当します。

その他、その新興国ならではの強みとなる業種が期待できるといえます。例えば、インドであればIT・情報サービス業が該当します。インドの情報サービス業は毎年、GDP成長率よりも高い成長率（2桁）を誇っており、今後も拡大の一途が期待できます。

こうした新興国の成長の果実を投資により享受することは可能です。ただし、くれぐれも様々なリスクが存在することも忘れず、分散投資などでリスク軽減も図っていくようアドバイスすべきといえます。